

総務 常任委員会

委員会審査報告

主な議案の審査経過を報告します

厚生文教 常任委員会

●豊後大野市監査委員条例の一部改正について

監査委員の定数を3名にしているものを、自治法に定められたとおりの2名にするものです。

問 今までより監査のペースが落ちるのではないかと。

答 削減の影響はあると考えますが、議決後に、監査委員との協議の中で、半日で実施していたものを一日かけるなど監査計画を詰め直したい。

問 心配だが、大丈夫と考えているのか。

答 県内他市では、自治法に定められたとおりの定数で監査を実施していますので、本市でもこれまでと変わらぬ監査ができるよう監査計画等をつくりながらやっていきたい。

【付託議案の審査結果】

議案4件と請願1件を付託され、慎重審査の結果、それぞれ可決、採択すべきとしました。

●豊後大野市犯罪被害者等支援条例の制定について

犯罪被害者等の支援を総合的に推進し、犯罪被害者等が受けた被害の早期の回復と軽減を図ることを目的に、基本理念や市の責務及び市民等の責務、そして見舞金の支給等を定めるもので、県が事務局となり県内全市町村による条例検討ワーキングチームが立ち上げられ、条例等の制定に向けた検討を重ねてきたところです。

問 二次的被害者に対する見舞金はないのか。

答 二次的被害は見舞金等の対象ではないですが、この条例は、基本的な理念を謳っており、この理念の中で、二次的被害によって苦しんでいる方もいるので、国、県、市が、平穏な暮らしを取り戻せるよう支援の在り方、普及啓発等に努めていかなければならないという努力義務が課されています。

●平成30年度国民健康保険特別会計補正予算（第1号）

歳入歳出それぞれ1112万円を増額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ51億9017万3千円とするものです。主な理由は、人事異動に伴う職員1名増によるものです。

問 職員が増えたのは、事業が増えたからか。

答 医療費の増加により、国も保健事業に力を入れています。今まで健康推進室の保健師と連携して、保健事業に取り組んでいましたが、今年度は国保年金係に専任の保健師を配置しました。

●平成30年度介護保険特別会計補正予算（第1号）

歳入歳出それぞれ1497万2千円を減額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ64億4112万4千円とするものです。主な理由は、人事異動に伴う職員1名減によるものです。

問 組織改革により地域包括ケア推進室と改めて、包括支援センターの強化・充実に取り組むということだが、人員が減っている。その整合性はどこにあるのか。

答 認知症の初期集中支援チームが行っていた業務を、4月から社会福祉協議会の包括支援センターで行ってもらうようになったことが大きいです。

また、これまで認知症の初期集中支援チーム員であった嘱託職員2名が、引き続き地域包括ケア推進室に残ったことも加味されています。

【付託議案の審査結果】

議案2件と請願1件を付託され、慎重審査の結果、それぞれ可決、採択すべきとしました。

産業建設 常任委員会

●市道路線の認定について

上冬原大石線、井立線、ふたば台線、辰頭竜王線、竜王線の計5路線の市道を認定するものです。

問 各地域から市道認定の要望は多くあるのか。

答 多くあるのかと言われると、そこまではないです。ただ、市道に合致しないところは、お断りしています。

問 辰頭竜王線と竜王線の分筆の状況は。

答 まず市道の分筆、それから宅地の分筆と、段取りを踏まないといけないので、少し時間がかかっています。

●平成30年度公共下水道特別会計 補正予算（第1号）

歳入歳出それぞれ10万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ8266万7千円とするものです。歳出は、4月の人事異動に伴う人件費分10万円を追加補正するものです。

問 当初予算では間に合わなかったのか。

答 当初予算は12月頃にヒアリングが始まり、3月議会で可決されますが、異動は4月以降ですので、今の時期に追加減額補正をします。

【付託議案の審査結果】

議案4件を付託され、慎重審査の結果、それぞれ可決すべきとなりました。

教育委員会委員の任命

5月16日（水）に開かれた第1回臨時会で教育委員会委員の任命について、全会一致で同意しました。臨時会の賛否の一覧は19ページに掲載しています。

や の けん いち
矢 野 憲 一 氏
【三重町】

自：平成30年 5月31日
任期
至：平成34年 5月30日



人事案件